

# 大好き田原

田原地区教育推進協議会 発行  
第107号  
事務局：田原小学校 TEL78-1402

## ～2023年田原大とんど祭りのお礼～

田原地区教育推進協議会 会長 山本 稔

春寒の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は田原地区教育推進協議会の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和5年1月15日に「2023年田原大とんど祭」を執り行いました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、とんどの参加者を本会構成団体役員に限定し、私有地での開催となりましたが、地域の皆様からお預かりした「しめ縄」と「書き初め」のお焚き上げを無事に行うことができました。これもとんどの組み立てに使用する藁や竹をご提供いただきました皆様、また「しめ縄」と「書き初め」の回収にご協力いただきました皆様のおかげと心より深く感謝申し上げます。

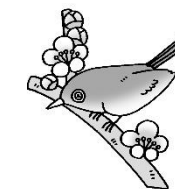
令和4年はウィズ・コロナ時代へ向けた新たな生活様式を模索しながら社会と経済が少しずつ日常を取り戻した1年でありました。令和5年はさらにコロナとの共生の取組みが進むものと思われま

す。コロナの流行は私たちの生活を一変させましたが、人と人の繋がり大切さを改めて考えるきっかけにもなりました。本会といたしましてはスローガンである「田原はひとつ」の想いと、街づくりを進める為にも伝統あるこの田原大とんど祭を大切に受け継ぎ、新しい時代に向けた地域のネットワーク構築を目指してまいります。



五感で感じてほしいことがたくさんあるだけに、誠に残念な限りです。

さて、先日、地域の防災について考える機会がありました。来たる災害時に備え、地域で体制や組織を整え、避難所施設や備品等について共有することは重要なことだと思います。いつ、どのような形で発災するか予測できない状況下では、「自助・共助・公助」の考えのもと、とりわけ、地域住民どうしが声掛けしたり、避難を確認し合ったりする「共助」が有意義に働くと考えます。そのために、日頃から隣近所や地域のなかで顔見知りになり、つながりを持つことが大切だと思います。そのような意味で、古くから各地域ごと祭りなどの場を設けて、人が集い、協力して取組みを行うことで、人と人がつながり、お互いを知り、関係を深めてきたのでしょう。田原の里に続く大とんど祭は神事であるとともに、人がつながる要素の濃い貴重な場であると思います。来年こそは人が多く集う場となり盛大に開催され、この先も永く続くことを切に願っております。



## 「地域の子どもは地域で育てよう」 ～コミュニティ・スクール立ち上げについて～

田原中学校 校長 鉄 寿広

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育活動にご理解、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

さて、今年度、田原中学校区（田原小学校と田原中学校）でコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を立ち上げました。「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。」と文部科学省のホームページに記載されています。地区協の活動やその他の地域行事に加え、田原の子どもたちの育成に向けた様々な取組みを学校と地域が一体となって検討し、実施していくものです。田原中学校区ではこども園、田原小学校、田原中学校に加え、地域の教育機関である専門学校の意見も踏まえつつ、地域の意見を尊重して、子どもの成長を促す具体的な活動を進めてまいります。

「地域の子どもは地域で育てよう」

今後いろいろとお願いすることがあろうかと存じますが、何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



## 「人と人をつなぐ伝統行事、文化の継承の大切さ」 ～2023年田原大とんど祭を終えて～

田原小学校 校長 上井 大介

余寒の候、地域皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本校教育活動推進にご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、「2023年田原大とんど祭」はコロナ禍での多岐に渡る要件を踏まえ、今年度も規模を縮小しての実施となりました。やむを得ない判断ではありますが、田原に住む子どもたちには、この行事を通して、地域の大人たちが協力してつくるとんどの制作過程、点火した後瞬時に高々と舞う炎や熱、付近に響く竹が破裂する音など、

